

令和元年度第2回一宮市総合教育会議 会議録

1 日時

令和2年2月21日（金）16時～16時45分

2 会場

一宮市役所 本庁舎 6階 特別会議室

3 出席者

市長 中野 正康
教育長 高橋 信哉
教育委員（教育長職務代理者） 平松 悦子
教育委員 山田 豊子
教育委員 加藤 学
教育委員 鈴木 孝之
教育委員 野田 典子
教育委員 土川 正夫

4 事務局（9名）

堀川行政課長、森行政課専任課長、滝野行政課課長補佐
野中教育文化部長、中村教育文化部総務課長、春日井学校教育課長、
伊藤学校教育課管理主事、長村教育文化部総務課専任課長、竹元学校教育課課長補佐

5 傍聴者

2名

6 議題

- (1) 新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方について
- (2) その他

7 資料

- (1) 「令和の時代にふさわしい制服の考え」についてのアンケート調査結果
- (2) 令和元年度中学生いちのみや「夢サミット」開催報告
- (3) 令和にふさわしい中学校制服の改革ロードマップ(案)

※会議の内容は次項のとおりです。

事務局

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から一宮市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、総合教育会議の設置に関する要綱及び傍聴に関する要領に基づき2名の方に傍聴いただいておりますのでよろしくお願いしたいと思います。それでは、会議に先立ちまして、市長からごあいさつを申し上げます。

市長

みなさん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。つい今まで臨時幹部会議を開催しております、市役所の新型コロナウイルスの対応を協議し、行事の中止等を検討していたところです。教育委員の皆さんの積極的なご発言をいただきたいので、私の話はこれぐらいにしたいと思います。

事務局

本日の議題は、「新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方」についてです。委員の皆さんからご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、総合教育会議の設置に関する要綱第4条第1項により、ここからは市長が議長となります。よろしくお願いいたします。

市長

8月26日の定例記者会見で、新しい時代に向けた一宮市中学生制服のあり方について、3つの視点で協議していく旨を発表しました。1点目が服育の充実、これは衣育とも言いますが、子どもたちの表現手段の一つです。2点目はシビックプライドとして、地域の良さ、繊維産業を伝えてほしいこと、そして最後に、保護者の負担へ配慮してほしいこと。本日はこの3点を考慮しながら協議したいと思います。第1回総合教育会議を経て、夢サミットとアンケートを行っていますので、事務局から報告をお願いします。

事務局

資料1のアンケート調査結果を元に、主に以下のとおり説明。

- ・市内の公立中学校19校の1・2年生生徒とその保護者に対してアンケートを配布し、合計5千枚余りを回収。
(生徒に対し、男女関係なく、自分が着るという意味ではなく質問)
- ・令和の時代にふさわしいと思いますか…「ふさわしい」と答えたのは、つめえり学生服・セーラー服ともに6割。ブレザー8割。ズボン76%、スカート67%、キュロットは54%。
- ・オリジナル制服を着たいと思いますか…「とても思う」「思う」合わせて5割。
(保護者に対し質問)
- ・制服はどのようなことを重要視すべきだと思いますか…多い方から清潔、着心地、安心・安全の順になった。
- ・一宮市の特色や学校の独自性を生かした制服があると良いと思いますか…「あまり思わない」「思わない」合わせて7割余り。自由意見として、経済面を心配する

声が見られた。

資料2の夢サミット報告書を元に、主に以下のとおり説明。

- ・「生徒・保護者・教員が重要視する点について考える」「一宮市オリジナルの重要性について知り、令和にふさわしい一宮市の制服像を共有する」について討議したところ、子どもたちから意見が多く出たことが良かった半面、保護者や教員の発言が少なかった。
- ・終了後のアンケートでは、保護者の意見も書かれていた。

市長

私も出席していましたが、子どもたちから活発に意見が出ていました。みんなが賛成するならばやればよいことで、すぐに方向性が出るとは思っていません。有意義な夢サミットでした。

委員

全公立中学校に行ったアンケートで、「独自性を生かした制服があると良い」と思わない保護者が多いのは、尾州ウールにピンと来ない人が多いからではないでしょうか。制服が並んでいるのを見て「可愛い」という感想はあっても、それが尾州ウール製でないと良さが分からないので、サンプルがあると良かったのではないのでしょうか。

市長

さわる機会があったのではないのでしょうか。

事務局

昨年の夢サミットではロンドンオリンピックで日本代表選手団が着用した尾州産の赤ジャケットを設置できましたが、今年は用意できませんでした。ただ、ファッションデザインセンターから、尾州生地サンプルをお借りできましたので、夢サミットの途中で触れる機会を持ちました。

市長

2年前に銀座の小学校で高級ブランドの制服を採用した例があったので、尾州は高級というイメージが沸くと、経済面で心配になったのかもしれませんが。

事務局

どのように進むにしても、保護者の負担は増えないようにと考えています。

市長

今後必要な取り組みについて、事務局の提案はありますか。

事務局

夢サミットでは、生徒の率直な意見は多く出されましたが保護者の意見はあまり出されておきませんので、まだ検討が必要です。今後は保護者や地域、学校などの意見を聞き、令和にふさわしい制服についての具体像を作り上げていく必要があること。また、制服を変更するしないという議論をするために、作り上げた具体像を実現し選んでいく期間も別にとる必要があること、等を考えると、教育委員会のみで進めるの

ではなく多方面の方が参加し、意見をまとめる実行委員会を作る必要があると考えています。

市長

意見を聞くために実行委員会をつくるという提案ですが、どうですか。

委員

夢サミットでは大人の意見を聞けませんでした。自分の子どもの前で発言するのは難しいので、大人だけで話し合う機会があるとよいのではないのでしょうか。

市長

夢サミットに出席していた大人は、保護者やPTAなどの皆さんですか。

事務局

子どもさんを送ってきたついでに参加した保護者の皆さんが多かったようです。

委員

保護者に意義が伝わっていないのではないのでしょうか。会合等で機運を高めたいですね。

事務局

PTAの総会などで、話題に出したいと思います。また全中学校には、コミュニティ・スクールになっておりますので、その会議の場で意見をいただくなどしていきたいと考えております。

市長

すぐには変えられませんし、1～2年後にはそれぞれの子どもが卒業してしまいますね。具体的にどのように進めるか、計画案が資料にあるようですが、説明をお願いします。

事務局

資料3にロードマップの案を示しました。令和元年度は第一次調査期としておりまして、令和2年度から形成期としまして、先ほど提案をさせていただいた実行委員会としまして、仮称「みんなの制服プロジェクト」を立ち上げ、有識者、PTA、学校等で討論し、議論を深めていきたいと考えています。

教育長

じっくりすぎてもいけません。機運があるうちに、スピード感を持って進めてください。

事務局

方向性が決まればスピード感を持って進めたいと思います。

市長

福岡市は1年半というスピードでした。ただし、50校のうち数校は変えなかったそうです。一宮市でも市内の中学校が一斉に決める必要はなくて、学校によって判断の時期がずれることがあっても良いと思うので、機運があるうちに進めましょう。スケジュール案より、もう少し早い方がよいでしょう。

委員

アンケートによって大半の保護者が、制服が変わるという認識を持ったと思います。なぜ今変えるのかという意見もありました。

委員

子どもたちからは活発な意見が出ていますので、なぜ変えることを検討しているのかも合わせてPRしたいですね。

市長

議論すること自体が有意義です。

教育長

先ほどもありましたが、各校の学校運営協議会で話し合うといいのではないのでしょうか。

委員

保護者は子どもがいると発言できない反面、子どもの意見を知らないようです。例えば、セーラー服のリボンが給食の時に着いてしまうなど、困っているならば変えなければ、となるといいですね。

委員

体操服で登校する姿を見かけて、学校の対応を知りました。現状を知ってもらえば考えるきっかけになります。

市長

ロードマップに沿ってオープンにやっていきましょう。

事務局

みんなの制服プロジェクトを立ち上げて、スピード感を持って進めていくということによってよろしいでしょうか。

市長

冷めないうちに進めてください。

事務局

今後、節目節目に総合教育会議でご報告いたします。

市長

続いて、教育にかかわる諸問題について。卒業式が近づいてきましたが、マスクについて対応は決まっていますか。

教育長

高校入試前ですので、原則はマスク着用ですが、証書授与や歌の時はマスクを外すようにしています。

委員

見守り隊の人から聞いたのですが、横断歩道の線が消えていて、車が止まってくれないことがあるそうです。どちらへ相談すればよいのでしょうか。

市長

塗装したくても県の許可が出ないという問題があります。他市も我々と同じ認識を持っており、県市長会で議題に挙げて県へ要望しております。

教育長

中学生が登下校時はヘルメットをかぶりますが普段かぶらないので心配です。尾西第一中学校で、おしゃれなヘルメットならばかぶるようになるのではないかという議論が起きています。

市長

制服と合わせて議論していきたいですね。

委員

一宮市では、子ども一人にパソコン一台を支給するのでしょうか。

教育長

パソコンは更新するタイミングが難しく、現在は8.6人に1台ある状況です。

市長

他にご発言がなければ、議題を終了します。それでは、これで令和元年度第2回総合教育会議を終了します。ありがとうございました。